



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社一六堂

コード番号 3366 URL <http://www.ichirokudo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柚原 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 大木 貞宏 TEL 03-3510-6116

四半期報告書提出予定日 平成29年10月16日 配当支払開始予定日 平成29年10月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	4,279	△6.1	202	18.4	252	14.3	114	25.6
29年2月期第2四半期	4,558	△3.7	171	70.6	220	37.3	90	38.1

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 114百万円 (25.6%) 29年2月期第2四半期 90百万円 (38.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	11.92	11.52
29年2月期第2四半期	9.52	9.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	6,337	5,347	83.3	546.52
29年2月期	6,174	5,263	83.7	541.87

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 5,281百万円 29年2月期 5,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年2月期	—	5.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,279	1.6	511	18.4	612	12.0	317	32.0	33.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	9,677,200株	29年2月期	9,550,000株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	13,900株	29年2月期	13,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	9,580,204株	29年2月期2Q	9,548,933株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済の不確実性の高まりから、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、労働需給の逼迫に伴う人件費関連費用の上昇や、全般的な原材料価格の上昇などにより、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下当社グループは、「ビジネスマン・企業戦士に、元気と明日への活力を提供する」を企業理念として、客単価5,000円前後の「天地旬鮮 八吉」等の和食居酒屋業態を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間は、当社グループの出店候補とする地区において、局地的な賃料高騰後の高止まりが続いているため新規出店は行わず、収益の基盤である既存店の収益力強化に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,279,068千円(前年同四半期比6.1%減)、営業利益は、202,491千円(同18.4%増)、経常利益は、252,344千円(同14.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、114,198千円(同25.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、量的な重要性が増加したことに伴い、報告セグメントの区分を、「飲食事業」、「商品卸売事業」、「その他」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 飲食事業

飲食事業につきましては、優良立地にある当社の既存店の収益力強化に注力してまいりました。当社グループの主力食材である鮮魚の仕入価格は、天候や水揚量に左右されるため、仕入・配送ルートの見直しを行い原価率の低減・安定を図ってきたことや、当社グループの中でも優良立地にある店舗に経営資源を集中させるため、今後大幅な業績の向上が見込めない2店舗を閉店することにより、効率性を高めてまいりました。

その他、今後の仕入れルートの拡大や、新たな買参権の取得を視野に、平成29年3月より山口県下関市に営業所を開設し、仕入の効率化を進めております。今後も、漁港で水揚げされたその場でセリに参加できる「買参権」で仕入れた比較優位な鮮魚等をフルに活用し、東京23区内のビジネス街及びターミナル駅周辺に、好立地物件に絞って出店してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は67店舗となり、売上高は3,914,545千円(前年同四半期比7.5%減)、経常利益は560,897千円(同1.8%減)となりました。

② 商品卸売事業

商品卸売事業につきましては、売買参加権で仕入れた青果物等をメインに、都内の飲食店を中心に顧客を増やし、売上高は445,589千円(前年同四半期比4.8%増)、経常利益は38,094千円(同12.5%増)となりました。

③ その他

その他につきましては、ライセンス販売の新規受注はなく、本社ビルの賃貸収入により、売上高は22,958千円(前年同四半期比18.8%減)、経常利益は14,437千円(同19.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

I. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、6,337,146千円、負債の部は、989,515千円、純資産の部は、5,347,631千円となりました。この結果、自己資本比率は、83.3%となっております。

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、3,079,608千円となり、前連結会計年度末と比較して271,172千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が265,397千円、商品が36,272千円増加したことによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表わされる流動比率は、前連結会計年度末と比較して13.8ポイント低下し、417.5%となりました。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、3,257,537千円となり、前連結会計年度末と比較して108,734千円減少しております。主な要因は、有形固定資産が104,406千円、無形固定資産が1,036千円、投資その他の資産が3,290千円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、737,713千円となり、前連結会計年度末と比較して86,538千円増加しております。主な要因は、買掛金が51,877千円、その他が51,010千円増加し、未払法人税等が24,162千円減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、251,801千円となり、前連結会計年度末と比較して8,075千円減少しております。これは、資産除去債務が8,075千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、5,347,631千円となり、前連結会計年度末と比較して83,974千円増加しております。主な要因は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益114,198千円の計上による増加、新株予約権（ストック・オプション）の行使等による資本金23,659千円、資本剰余金23,659千円の増加及び新株予約権29,861千円の減少、剰余金の配当による47,680千円の減少によるものであります。

II. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが309,969千円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが9,352千円の資金増、財務活動によるキャッシュ・フローが47,553千円の資金減となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末と比較して269,392千円増加し、2,257,769千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は309,969千円（前年同四半期比9.5%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益183,200千円、減価償却費98,702千円、減損損失31,807千円、仕入債務の増加額51,877千円、その他の流動負債の増加額40,070千円に対して、法人税等の支払額87,953千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は9,352千円（前年同四半期は85,387千円の資金使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出21,632千円に対して、敷金及び保証金の回収による収入36,576千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は47,553千円（前年同四半期比3.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払額47,680千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月13日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,065,631	2,331,028
売掛金	245,902	257,448
商品	230,585	266,857
その他	266,318	224,273
流動資産合計	2,808,436	3,079,608
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	961,000	865,208
土地	741,130	741,130
その他(純額)	103,769	95,155
有形固定資産合計	1,805,900	1,701,493
無形固定資産		
その他	9,543	8,506
無形固定資産合計	9,543	8,506
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,455,124	1,456,128
その他	110,757	106,462
貸倒引当金	△15,054	△15,054
投資その他の資産合計	1,550,827	1,547,537
固定資産合計	3,366,272	3,257,537
資産合計	6,174,709	6,337,146
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,564	209,441
未払法人税等	105,977	81,815
資産除去債務	—	7,813
その他	387,633	438,643
流動負債合計	651,174	737,713
固定負債		
資産除去債務	246,136	238,061
その他	13,739	13,739
固定負債合計	259,876	251,801
負債合計	911,051	989,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,521	1,189,180
資本剰余金	1,220,511	1,244,170
利益剰余金	2,786,416	2,852,934
自己株式	△5,129	△5,129
株主資本合計	5,167,318	5,281,154
新株予約権	96,338	66,476
純資産合計	5,263,657	5,347,631
負債純資産合計	6,174,709	6,337,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	4,558,205	4,279,068
売上原価	1,348,443	1,279,299
売上総利益	3,209,762	2,999,769
販売費及び一般管理費	3,038,675	2,797,278
営業利益	171,087	202,491
営業外収益		
受取利息	191	212
受取配当金	47	47
協賛金収入	48,964	45,057
受取補償金	2,640	—
その他	7,694	7,965
営業外収益合計	59,538	53,282
営業外費用		
為替差損	7,854	2,376
支払補償費	639	—
その他	1,305	1,053
営業外費用合計	9,798	3,429
経常利益	220,827	252,344
特別損失		
固定資産除却損	2,060	—
減損損失	40,327	31,807
店舗閉鎖損失	30,465	24,950
損害賠償金	—	12,386
特別損失合計	72,853	69,144
税金等調整前四半期純利益	147,974	183,200
法人税、住民税及び事業税	75,360	62,823
法人税等調整額	△18,309	6,178
法人税等合計	57,051	69,002
四半期純利益	90,923	114,198
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,923	114,198

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	90,923	114,198
四半期包括利益	90,923	114,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,923	114,198
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,974	183,200
減価償却費	124,213	98,702
減損損失	40,327	31,807
受取利息及び受取配当金	△239	△259
為替差損益 (△は益)	7,854	2,376
受取補償金	△2,640	—
固定資産除却損	2,060	—
損害賠償金	—	12,386
売上債権の増減額 (△は増加)	5,701	△11,546
たな卸資産の増減額 (△は増加)	26,472	△36,148
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,564	51,877
未払金の増減額 (△は減少)	△15,107	6,150
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,343	△7,232
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△29,225	△815
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	30,990	40,070
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△543	—
その他	34,302	21,072
小計	357,232	391,639
利息及び配当金の受取額	189	287
補償金の受取額	2,640	—
損害賠償金の支払額	—	△2,386
法人税等の還付額	20,938	8,384
法人税等の支払額	△38,541	△87,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,458	309,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,500	△8,000
定期預金の払戻による収入	18,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△71,823	△21,632
無形固定資産の取得による支出	—	△84
敷金及び保証金の差入による支出	△26,287	△2,141
敷金及び保証金の回収による収入	42,221	36,576
その他	△31,997	△7,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,387	9,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	127
自己株式の取得による支出	△1,260	—
配当金の支払額	△47,747	△47,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,007	△47,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,854	△2,376
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	200,209	269,392
現金及び現金同等物の期首残高	1,406,345	1,988,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,606,554	2,257,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食事業	商品卸売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,229,694	306,220	4,535,915	22,290	4,558,205	—	4,558,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	119,050	119,050	6,000	125,050	△125,050	—
計	4,229,694	425,270	4,654,965	28,290	4,683,255	△125,050	4,558,205
セグメント利益	570,967	33,867	604,835	17,852	622,687	△401,860	220,827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△401,860千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、7店舗に係る店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、40,327千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食事業	商品卸売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,914,545	341,564	4,256,110	22,958	4,279,068	—	4,279,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	104,025	104,025	—	104,025	△104,025	—
計	3,914,545	445,589	4,360,135	22,958	4,383,093	△104,025	4,279,068
セグメント利益	560,897	38,094	598,992	14,437	613,429	△361,084	252,344

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△361,084千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間から、商品卸売事業の量的な重要性が増加したことに伴い、報告セグメントの区分を「飲食事業」と「商品卸売事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、2店舗に係る店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、31,807千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。